

◆ 今週のコメント

- ・ **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**の報告が1例(男性, 80歳代)あります。症状は発熱, 腸炎, 尿路感染症で, 推定感染地域は国内, 推定感染経路は経口感染です。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は6.68(254例)で, 第3週(1月16日～22日)に11.05とピークとなった後, 第5週(1月30日～2月5日)以降横ばい状態が続いています。3月に京都市衛生環境研究所で受け付けた感染性胃腸炎の検体から, ノロウイルスGⅡ型が1件, ロタウイルスが3件, アデノウイルス40/41型が1件検出されており, ロタウイルスが増えています。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は, 2.08(79例)で先週(1.89)よりも少し増加し, 第8週以降過去5年平均値を大きく上回っています。年齢階級別では, 2歳～9歳が78.5%を占めています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は13.06(849例)で, 第5週(1月30日～2月5日)をピークに5週連続減少しているものの, 依然として注意報レベルの「10」を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 五類:バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点65, 小児科定点38, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	13.06	849
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.68	254
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.08	79
	③ 水痘	0.87	33
	④ 突発性発しん	0.29	11
	⑤ RSウイルス感染症	0.26	10
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.26	10
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

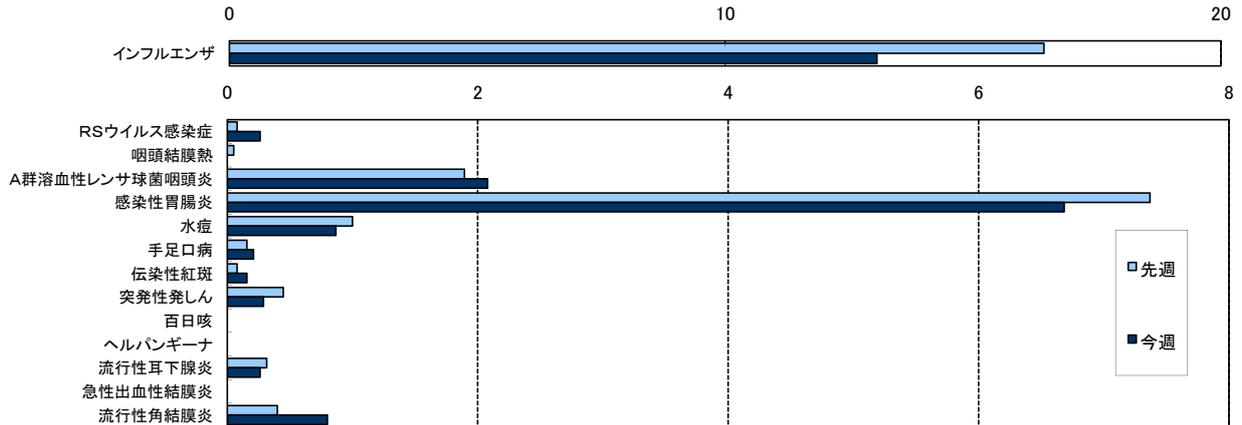
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは, 平成24年3月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

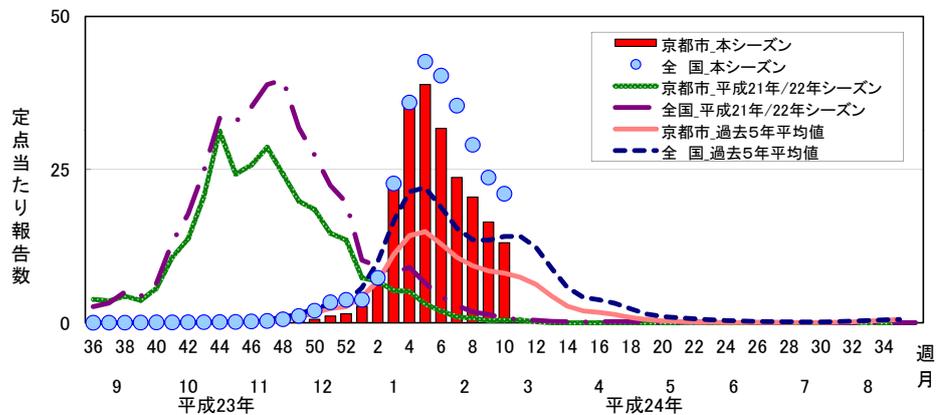
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第10週)と先週(第9週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第6週	2,029
第7週	1,541
第8週	1,334
第9週	1,068
第10週	849
累積報告数(第36週以降)	13,915

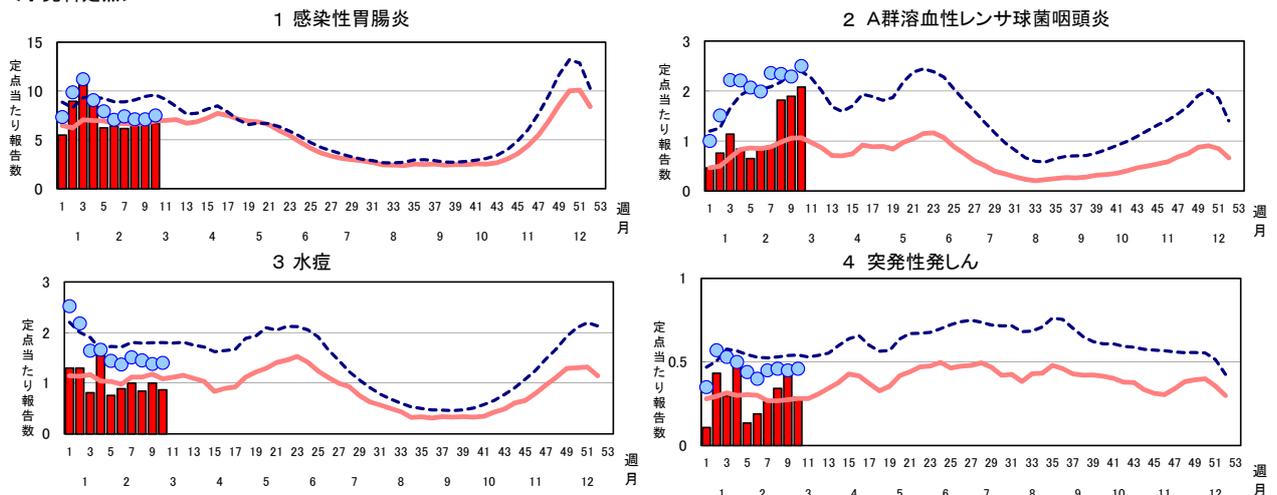


※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH18-H21年及びH23年の平均値です。

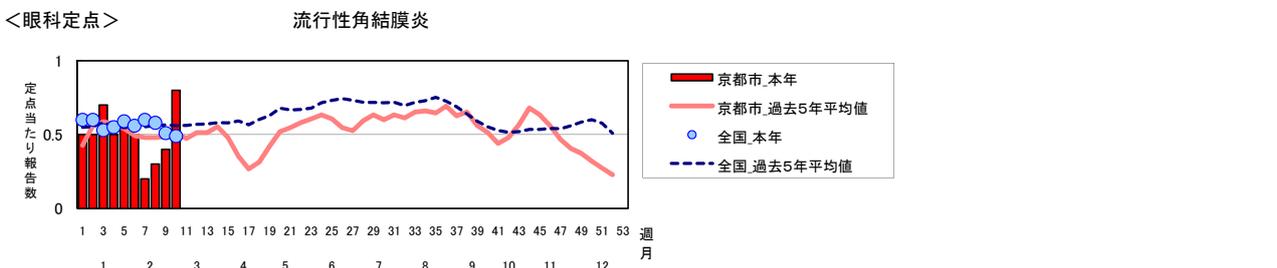
※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第10週(3月4日～3月11日)トピックス: <インフルエンザ>

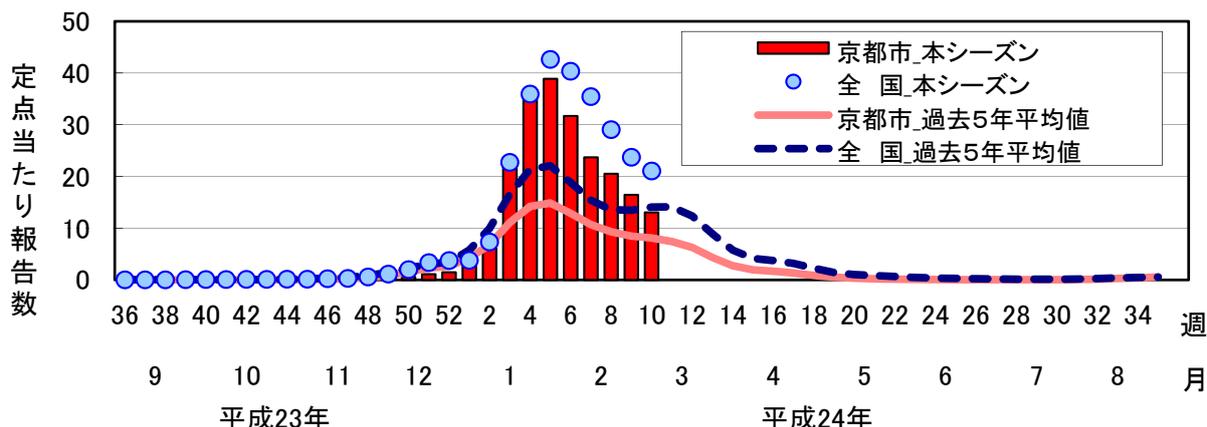
インフルエンザの定点当たり報告数は13.06(849例)で、第5週(1月30日～2月5日)をピークに5週連続減少しているものの、依然として注意報レベルの「10」を上回っています。

年齢群別では5～9歳が40.2%と最も多く、次いで0～4歳21.9%、10～14歳17.6%の順で0～14歳が79.6%を占めており、0～14歳の割合が例年よりも多くなっています。

3月に京都市衛生環境研究所で受け付けた検体から、A(H3)亜型1例、B型10例が検出され、B型の割合が増加しています。全国のインフルエンザウイルス検出状況においても、B型の割合は、第9週に50%を超え第10週は72.7%にまで増加しています。(平成24年3月19日現在)

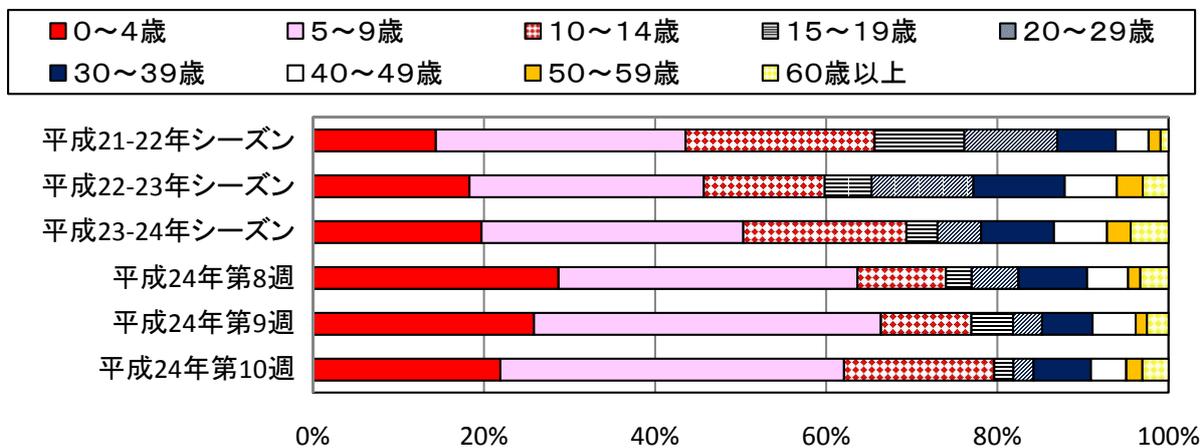
京都市全体の定点当たり報告数は減少しましたが、5行政区では先週より増加しています。A(H3)亜型とB型の混合流行となっており、今後の動向に御注意下さい。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH18-H21年及びH23年の平均値です。

年齢群別定点当たり報告割合の推移



行政区別 発生状況の推移

